
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 130 号(2023.11.1)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第130号をお届けします。

--第 130 号の目次-----

1. 活動組織の活動紹介

☆^{みやけ}三宅地区^{のうくわかん}農空間^{まつばら}保全協議会^{みやけ}(大阪府松原市三宅)☆

未舗装農道をアスファルト化することにより、作業の効率化が図られました!

☆^{ひろせ}広西^{きょうどうたい}グリーン協働隊^{とっとり}(鳥取県鳥取市^{こくふちよう}国府町)☆

施設の不良箇所アンケートや広報誌で情報共有をしながら、集落全戸で活動しています!

2. 女性役員へのインタビュー

☆^{かきしたなかは}柿下中早田^{やた}活動組織^{たがわぐんか}(福岡県田川郡^{かわらまち}香春町)☆

令和 4 年度から活動を始め、女性が代表を務めている組織に、活動を始めたきっかけ、活動を始める際に苦労したこと、活動を始めて良かったことなどを聞きました!

3. 活動組織の広報誌紹介

☆^{いまく}今区^{みいぐん}環境を守る会^{たちあらいまち}(福岡県三井郡大刀洗町)☆

写真を多く活用することで、どんな活動を行っているのか分かりやすくするなど、工夫しています!

4. 『令和 5 年度 田園自然再生活動の集い』開催のご案内

5. 『農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム』開催のご案内

6. 令和5年度 11~1 月多面的機能支払イベントカレンダーを作成しました!

■【お知らせ】活動中の事故に注意!■

【編集後記】

■ 1. 活動組織の活動紹介(1) ～^{みやけ}三宅地区^{のうくわかん}農空間保全協議会(大阪府^{まつばら}松原市^{みやけ}三宅)～ ■

～ 地区概要 ～

大阪府松原市の北部にあり、大阪市の南に隣接した農業地帯で活動しています。活動範囲は、田15ha、水路5.0km、農道5.5km、ため池3箇所です。



学習農園（田植え）の様子

～ 主な取組 ～

- ◎ 当組織は、平成27年より本事業を活用しています。本地域は、農地と住宅・工場・道路・商業施設などの混住化が進んでおります。また、農業者の高齢化や担い手不足などによる農業者の減少などの課題を抱えております。このような中、三宅小学校との連携による学習農園活動を推進することにより、農地保全の大切さを認識してもらっています。
- ◎ 水路・農道などにおける草刈り・泥上げを実施しているほか、地域住民との協働により、ため池遊歩道における花の苗植えを実施することにより、景観の形成に向けた活動を進めています。
- ◎ 資源向上活動（施設の長寿命化）を活用して、未舗装農道をアスファルト化することにより、地区の農地保全が見込まれます。
- ◎ 今後につきましても、将来を担う子どもたちや、地域住民との活動を通じて、地域農業の振興を進めてまいります。



干歯扱き体験の様子



花の苗植えの様子



農道舗装の様子

【三宅地区農空間保全協議会 代表 東野一雄】

編集担当 SDGs コメント

学校教育と連携して学習機会を提供することは、目標4（地域内外の人に質の高い教育、生涯学習の機会を提供する。）に貢献しています。また、資源向上支払により施設の長寿命化を図ることは、目標9（災害に強いインフラづくりとそのための技術の開発に貢献する。）に貢献しています。子供たちも一生懸命に田植えや干歯扱き体験をしていますね！

これからも地域一体となって活動を継続していくことを応援しています！



■ 1. 活動組織の活動紹介(2)～^{ひろせ}広西^{きょうどうたい}グリーン協働隊(鳥取県鳥取市国府町)～ ■

～ 地区概要 ～

鳥取市東部に位置する農村です。平成 21 年度から活動に取り組み、15 年目となります。集落戸数は 37 戸で、活動範囲は田 26.1ha、畑 5.5ha、水路 11.2km、農道 8.4km となっています。主な作付けは水稻、大豆、麦、白ネギ、アスパラなどです。

～ 主な取組 ～

- ◎ 地域の子供から大人まで活動に参画し、農業、農村の多面的機能の保全に取り組んでいます。
- ◎ 5月の田植え前に、集落全戸参加で水路の泥上げや草刈りなどに取り組んでいます。7月にも全戸参加で草刈りや樹木の伐採などを行っています。
- ◎ ホタルの観察会を毎年実施しています。また遊休農地にヒマワリ、コスモス、サツマイモの栽培を実施、農道、水路周辺のゴミ拾い（クリーン活動）を春と秋に実施し生態系保全や景観形成に取り組んでいます。
- ◎ 毎年、施設の不良箇所アンケート調査を実施し農地の保全を行っています。また毎年主な活動を広報紙にして全戸配布し、子供から大人まで幅広く参加する活動の意義、成果について周知を図っています。
- ◎ これからも、農業者の高齢化、耕作放棄地解消、農業施設の健全な維持管理などの課題に取り組み、明るく元気な農業、農村づくりを進めていきます。

【広西グリーン協働隊 代表：廣瀬浩一】



5月の共同作業の様子



ホタル観察会の様子



芋掘りの様子



広報誌
(グリーンたより)

編集担当 SDGs コメント

ホタルの観察会やヒマワリの植栽などの活動に幅広い世代が参加しており、目標 4（地域内外の人に質が高い教育、生涯学習の機会を提供する。）や目標 16（多様な主体の参画による地域づくりを促進する。）に貢献しています。また、広報誌を活用することで、これらの活動を地域の子供から大人まで幅広く周知しており、活動の意義や成果について関係者で共有しています。

これからも、多様な年代が活動に参加する「明るく元気な農業、農村づくり」を進めていくことを応援しています！



■2. 女性役員へのインタビュー ～柿下中早田活動組織(福岡県田川郡香春町)～

組織の概要

福岡県田川郡香春町は、福岡県北東部にある筑豊地域の北東端部に位置し、登山者が来訪される牛斬山や龍ヶ鼻、五木寛之氏の小説「青春の門」に登場し有名になった香春岳があり、香春岳には野生のニホンザル、牛斬山には野生のイノシシが多数生息している。春には町の鳥に指定されているウグイスを見ることができ、隠れた名所となっている採銅所駅前の桜が咲き誇るなど、自然豊かな町である。その香春町の南部に位置している「柿下中早田活動組織」は、水資源に大変恵まれ、良質な米を生産しており、認定農用地面積は田 1.81ha、対象農業用施設は水路 0.6km・農道 0.4kmで、令和4年度より多面的機能支払交付金活動を開始している。

～ インタビュー ～

○話し手 柿下中早田活動組織 代表 城戸 富士子さん

○聞き手 福岡県農地・水・環境保全協議会 宮崎 正勝

○実施日時：令和5年3月22日 場所：香春町役場



代表 城戸 富士子さん

Q：令和4年度より多面的機能支払交付金活動を開始されていますが、それ以前の多面的機能支払交付金事業に対する認識はいかがでしたか。

A：活動を開始する前は多面的機能支払交付金事業の存在を知らず、他の地域の方から多面的機能支払交付金事業の存在を聞き、このような事業がある事を知りました。

Q：多面的機能支払交付金事業の存在を聞き、どのように思われましたか。

A：多面的機能支払交付金事業の存在を知って、この事業に参加してみたい気持ちになり、詳しい内容を知りたいと思いましたので、役場を訪ねて説明を聞きました。

Q：役場を訪ねられて説明を聞かれた時は、どのように思われましたか。

A：説明を聞くなかで、提出書類作成や交付金の収支決算報告等の事務関係が大変だと感じましたが、多面的機能支払交付金事業のパンフレットを見せて頂き、丁寧で分かり易い説明を聞くうちに、更に多面的機能支払交付金事業に参加してみたい気持ちになりました。

Q：多面的機能支払交付金事業参加を検討するなかで、何か心配する点はありませんでしたか。

A：この地域がとても小さい地域ですので、今後活動を行っていくうえで上手く継続出来るか心配しましたし、提出書類の作成等の事務関係でパソコンを使用する際、パソコン操作が得意ではなかったため、上手く書類が作成出来るか心配しました。



柿下中早田活動組織の方々

Q：そんな思いのなか、皆さんと検討して活動を始めようと思われたのですね。

A：はい、事務関係等がとても大変そうでしたが、まずは始めてみないと事が進まないため、皆さんと共に協力して始めてみたいと思い、多面的機能支払交付金事業に参加する事になりました。

Q：活動を始める際に城戸さんが活動組織代表の職に就かれています、女性役員として代表に就かれた経緯を教えてください。

A：この地域は小さな地域で、幼馴染みと言いますか、気の知れた昔からの仲の良い皆さんでして、その皆さんから「代表には城戸さんが相応しいから、城戸さんお願いします。」と推薦を頂き、やってみようと思いました。



草刈の様子

Q：代表を引き受ける際に、女性が役員に就く事に抵抗はありませんでしたか。

A：皆さんが協力し、共にやって頂くとおっしゃったので、特に抵抗はありませんでした。

Q：活動組織代表として、多面的機能支払交付金事業を開始する際、どのような点に苦労されましたか。

A：分からない事が多々ありましたので、役場や他の組織の方々に聞いて活動を行いましたし、パソコンが得意でなくパソコン操作に少し苦労しましたが、皆さんの協力で組織自体はまとまっていたので、特に大きな苦労はありませんでした。



草刈の様子

Q：現在活動をされていて、何か苦労する点がありますか。

A：苦労する点と申しますか、活動自体は皆さんの協力で良く出来ていると思いますが、つい作業に集中してしまい、活動写真を取る事を忘れてしまいそうになる事が多々あります。

Q：現在活動をされている、女性の構成員はいらっしゃいますか。

A：いいえ、とても小さい組織で、全7名の構成員のうち女性は私一人です。

Q：柿下中早田活動組織で特に力を入れている活動はどの活動ですか。

A：活動範囲内の水路が結構幅広く高低差もあり泥が溜まりやすいので、水路の泥上げや草刈りに力を入れています。

Q：活動を行う上で、心掛けていることはありますか。

A：草刈り・泥上げの活動中や、刈った草の処理など、活動を行っている範囲の隣住民の方々に迷惑をかけないように、特に気を付けて作業を行うよう心掛けています。

Q：多面的機能支払交付金活動を実施して良かったと思う点は、どのような点ですか。

A：もともと多面的機能支払交付金事業に参加する前も、草刈り・泥上げの作業は地域で行っていましたが、多面的機能支払交付金事業に参加する事により、交付金を有効に使う事で、草刈り・泥上げ活動が更に充実しました。また、皆さんが集まって、皆さんの意見を聞け、皆さんと情報交換ができる事がとても良かったです。

Q：最後に、柿下中早田活動組織の今後の展望や、これからの目標を教えてください。

A：現在は農地維持活動のみの活動ですが、今後は資源向上共同活動の活動を計画し、活動の幅を広げるとともに、皆さんと一緒に地域全体を活性化していきたいと思います。

編集担当 SDGs コメント

女性代表の活躍は、目標5（女性の参画により地域や活動組織の取り組みの可能性を広げる。）に貢献しています。また、草刈りや泥上げを行うことは、目標2（持続可能な農業生産を支える。）に貢献しています。事務手続きの煩雑さに不安を感じられたようですが、一步踏み出していただいととても嬉しく思います！これからも、本交付金を有効に活用いただきたく思います！



■ 3. 活動組織の広報誌紹介 ～今区環境を守る会(福岡県三井郡大刀洗町)～ ■

広報誌の概要

- ◇ 年4回、四半期ごとに発行しており、その時期の特徴的な事項を掲載することになっています。
- ◇ 今区環境を守る会だよりを発行する目的としては、次の3点を考えています。
 - ・ 1つめは、住民に今区環境を守る会や守る会の活動内容、あるいは構成員などを知ってもらうこと。
 - ・ 2つめは、住民に守る会の活動への参加を促すこと。
 - ・ 3つめは、住民に守る会の活動に理解をしてもらうこと。

～ 工夫しているポイント ～

- ポイント1：最初に参加者の集合写真や美しい風景、作業状況などの写真を大きく掲載し、写真の上に特徴的な事項や具体的な写真の内容説明などを記載して目につきやすいように工夫しています。
- ポイント2：写真の右側や下段には、具体的な作業の状況などの写真や作業内容の説明などを記載し、作業の前→作業中→作業後の小さな写真を掲載することで作業の状況が分かりやすいように工夫しています。
- ポイント3：今後の予定の作業内容と今区環境を守る会への参加要請文を記載して、活動参加人数が増えるように工夫しています。

ポイント1 回覧版を活用して周知！

活動内容を農業者以外の地域住民にも周知するために、活動組織がある地域内で回覧版を回しています。

今区環境を守る会だより

令和第15号
令和4年11月20日

水路の除草シート張り

草が茂るとゴミが捨てられます。汚いので11月11日に除草シートを張りました。今後は綺麗になるでしょう。皆さんご苦労様でした。



草刈りした後にシートを張りました



11月4日に雑木の除去作業を行いました



美化作業(10月24日)



10月1日に大分市で開催された九州ブロック研修会に参加しました



勝廣さん管理の花です。綺麗ですね



コスモスの花が少なかったのは少雨のため？

ケイトウとイモカタバミは順調でした

- 今後の予定
- 12月 水路・農道の除草、農道の修復 花の植栽、意見交換会
 - 1月 点検・診断
 - 2月 水路・農道の除草、花の除草
 - 3月 総会



今区環境を守る会の活動に参加しませんか

ポイント2 写真を多く使用して紹介！

できるだけ文字を減らし、作業順序がわかるように写真を配置して、視覚的に活動内容がわかりやすいようにしています。

ポイント3 今後の予定と呼びかけ

今後の予定の作業内容と活動参加の呼びかけを記載して、活動参加人数が増えるように工夫しています。

■4. 『令和5年度 田園自然再生活動の集い』開催のご案内 ■

(一社)地域環境資源センター(JARUS)では、田園自然再生活動を推進するため、毎年「田園自然再生活動の集い」を開催しています。今年度は、JARUS 設立 40 周年記念事業の一環として開催します。

【生物多様性と田園自然再生活動ー生きものと共にある田園自然の暮らしと営みの継承ー】をテーマとして、地域が一体となって取り組んでいる自然環境や多様な生きものと共生する農村づくり「田園自然再生活動」の今、そしてこれからの展開について考えます。

▽日程▽

令和5年12月13日(水) 13:00~17:00

▽開催場所▽

東京大学 弥生講堂一条ホール (Web 配信併用)

▽参加費▽

無料 (参加登録が必要です)

▽申込み・問合せ先▽

〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4

(一社)地域環境資源センター 田園自然再生活動事務局 (担当: 藤田)

TEL: 03-5425-2461

E-mail: denen-saisei@jarus.or.jp

◎イベント詳細 (11月より参加登録開始)

<http://www.jarus.or.jp/>

【(一社)地域環境資源センター 田園自然再生活動事務局】

■5. 「農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム」開催のご案内 ■

全国土地改良事業団体連合会では、持続的な地域づくりに向けた農村 RMO の取組や、教育機関など地域内外の関係者との連携、農業遺産や地域資源を活用した地域活性化等について知見を深め、多面的機能支払に係る活動や、活動への理解の促進を図るため、「全国シンポジウム」を開催します。ぜひご参加ください。

▽日程▽

第1部：令和5年12月6日（水） 13:30～16:30

講演：「地域に消えない火を灯せ」～住民のやる気を引き出す力～（高橋 信博 氏）

「嫁に来たくなる里づくり」（村田 正明 氏）

「大崎耕土の巧みな水管理と、持続可能な水田農業」（安部 祐輝 氏）

「事務処理の効率化を通じた事業推進について」（矢野 成美 氏、深田 留美子 氏）

第2部：令和5年12月7日（木） 9:00～12:00

講演：「地域の教育機関との連携事例」（崎原 栄志 氏、玉城 佑一 氏）

「高校生と連携した農村を守る活動」

（富沢 邦義 氏、松井 克彦 氏、群馬県立吾妻中央高等学校農業クラブ代表生徒）

パネルディスカッション：

「農業・農村を次世代に引き継いでいくために（多面的機能支払の活動組織と教育機関へ期待される役割）」（榊田 みどり 氏、中里 良一 氏、松井 克彦 氏、玉城 佑一 氏、栗田 徹 氏）

▽開催場所▽

砂防会館別館1階（利根大会議室）

（Web 配信も併用）

▽申込方法（11月8日（水）17:00まで）▽

下記参加申込み URL にアクセスするか、QR コードを読み込んでいただき、必要事項を記入して送信願います。

参加申込み URL：<https://www.inakajin.or.jp/works/research>



▽お問合せ先▽

全国水土里ネット（全国土地改良事業団体連合会）

TEL：03-3234-5480 FAX：03-3234-5670

■6. 令和5年度 11～1月多面的機能支払イベントカレンダーを作成しました！■

多面的機能支払交付金の情報発信として、本交付金に関する各地のイベントの日程などをまとめたイベントカレンダーを作成しました。より本交付金を学びたい方や他組織の活動の様子を参考にさせていただくなど、多くの方に活用していただきたいです！本メルマガ掲載時より、イベントの情報が更新される可能性があるため、詳細は問い合わせ先までご確認ください。

月	日	都道府県	イベント名（主催者）	備考	問い合わせ先
11月	7～10日	山形県	若手・女性等事務担当者養成研修 （山形県推進協議会）	・協議会のホームページに掲載	
	9～10日	鳥取県	2023ため池フォーラムinとっとり （鳥取県、鳥取県土地改良事業団体連合会）	・鳥取県農林水産部農業振興局農地・水保全課ホームページ https://www.pref.tottori.lg.jp/nouchi-mizuhozen/	・問合せ先（0857-26-7338）or （nouchinouchi-mizu@pref.tottori.lg.jp）
	10日	山口県	農村環境の未来を考える研修会 （山口県日本型直接支払推進協議会）	※推進協議会のホームページにて公開する予定	【問合せ先】 山口県日本型直接支払推進協議会事務局 （森山）TEL083-933-0035 山口県農林水産部農村整備課（能美）TEL083-933-3423
	10日	山口県	山口県日本型直接支払推進協議会長表彰 （山口県日本型直接支払推進協議会）	※推進協議会のホームページにて公開する予定	【問合せ先】 山口県日本型直接支払推進協議会事務局 （森山）TEL083-933-0035 山口県農林水産部農村整備課（能美）TEL083-933-3423
	13日	福島県	農村振興セミナー （福島県・福島県多面的機能支払推進協議会）	https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/597910.pdf	
	13日	富山県	第17回「ワクワクとやま」むらづくり推進大会 （富山県）	・多面、中山間、都市交流等の優良な活動を表彰するもの。	・問合せ先 富山県農林水産部農村振興課都市農村交流係（076-444-3380）
	15日	佐賀県	令和5年度多面的機能支払交付金に関わる研修会 （佐賀県農地・水多面的機能推進協議会）	・佐賀県農地・水多面的機能推進協議会のHPに掲載予定	・問合せ先：佐賀県農地・水多面的機能推進協議会（0952-24-6267）
	25日	京都府	京都府農林水産フェスティバル2023 京都府農地・水・環境保全向上対策協議会優良表彰式・第14回農と水と環境を守る子ども絵画コンクール表彰式 （京都府農地・水・環境保全向上対策協議会、京都府）	・京都府のホームページに公開する予定	・問合せ先 （表彰式について） 農林水産部農村振興課 主幹兼係長 大島 TEL 075-414-4906 （受賞作品について） 京都府農地・水・環境保全向上対策協議会事務局 西尾、田中 TEL 075-451-4137
	25日	静岡県	農村サステナブルフォーラム （静岡県）	下記URLで公開済 https://mura-forum.jp/main/	
26日	愛知県	令和5年度 農地・水・環境のつどい （愛知県、愛知県土地改良事業団体連合会）	・愛知県HPにて公開予定	・問い合わせ先 愛知県農地計画課 052-954-6429	

月	日	都道府県	イベント名（主催者）	備考	問い合わせ先
12月	21日	山梨県	多面的機能増進活動表彰式 （山梨県推進協議会）		
	22日	兵庫県	ひょうご水土里の豊かなふるさとフォーラム （兵庫県、兵庫県推進協議会）	・協議会HPに掲載予定	・問合せ先 078-362-3431
	23日	三重県	第14回みえのつどい （三重県、三重県農地・水・環境保全向上対策協議会）	・三重県HPにて公開予定	・問い合わせ先 三重県農山漁村づくり課 059-224-2551
	下旬	青森県	活動組織リーダーの集い （青森県推進協議会）	・協議会のホームページやSNSで公開する予定	・問合せ先 017-723-2404
	下旬	岩手県	いわて農林水産躍進大会 （いわて農林水産振興協議会）	・本大会で、優良な取組をしている活動組織を表彰するもの。（岩手県農地・水環境保全向上モデル賞） ※主催は推進協議会であり、当職から協議会に表彰をお願いしているもの。 ・いわて農林水産振興協議会のFaceBookで紹介予定。	・問合せ先（019-629-5687）※表彰内容のみ、大会自体は協議会主催より問い合わせは別となる
1月	18日	熊本県	みどりのむらづくりフォーラム （熊本県）		熊本県農林水産部むらづくり課（096-333-2378）
	23日	福岡県	令和5年度多面的機能支払交付金の実施に係る研修会 （福岡県農地・水・環境保全協議会）		問合せ先 092-643-4610
	24日	長崎県	長崎県多面的機能支払活動組織の集い （長崎県農地保全推進協議会）		・問合せ先（095-816-3636） （nagasaki.nkyougikai@ntr.or.jp）
	30日	福岡県	令和5年度多面的機能支払交付金の実施に係る研修会 （福岡県農地・水・環境保全協議会）		事務局：熊本県多面的機能支払推進協議会 （096-348-8802）
	下旬～ 2月中旬 予定	沖縄県	多面的機能支払活動組織の集い （沖縄県多面的機能保全推進協議会）		沖縄県土地改良事業団体連合会 （TEL：098-888-4511） 又は下記URLのお問い合わせフォームから （ http://www.dokairen-okinawa.jp/contact ）

■ 【お知らせ】活動中の事故に注意！ ■

引き続き、草刈機との接触による事故の報告が来ておりますので、周囲に人がいないことを確認し、適宜、声かけを行いつつ、十分注意して作業を行うようにしましょう。

今年度は草刈り作業に伴う重篤な事故が複数発生しております。

つきましては、作業は必ず複数名で行い、単独で目の届かない範囲で作業する者が生じないように、声かけをしながら作業を行いましょう。

また、トラクターなどの農業用機械を運転する際には、農林水産省ホームページに掲載されているチラシやリーフレット等を参考にして、安全対策を徹底しましょう。

◇農林水産省「農作業安全の啓発資料」◇

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/siryo.html

◇農林水産省「乗用型トラクターの事故に関する安全対策のポイント（平成23年）」◇

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/pdf/torakuta.pdf

活動組織の皆様におかれては、「共同活動の安全のしおり」のチェックリスト等を活用して安全管理の徹底を図り、作業時の事故防止に努めましょう。

◇「共同活動の安全のしおり」◇

「共同活動の安全のしおり」のダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-86.pdf



☆作業のポイント

作業は必ず複数名で行い、単独で作業する者が生じないように、声かけを行いながら作業しましょう！

☆作業のポイント

トラクターなどの農業用機械を運転する際には、シートベルトの着用など安全対策を徹底しましょう！

■ 編集後記 ■

読者のみなさま、こんにちは。寒くなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。私は、先日研修で、神奈川県小田原市に行きました。小田原市は、小田原城もあって歴史ある場所である上に、山や海もあり、自然豊かな場所でとても魅力を感じました。

研修では、2週間農家さんのご自宅に泊まらせていただきながら、みかん畑とキウイ畑の草刈りや青みかんの収穫などを行い、農業について深く知る貴重な機会となりました。研修で得た知見を今後に活かしていきたいと思えます。

いつもメールマガジンを読んでいただきありがとうございます。日増しに寒くなってまいります。どうか温かくしてお過ごしください。



みかん畑からは海が見えました！

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/houson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからご覧いただけます！→

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp



高めよう 地域協働の力！

-----【発行】-----

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室（担当：細川、渡邊）
TEL：03-3502-8111（内線 5493）